

～ 福岡日伊協会映画鑑賞会のご案内 ～

第168回上映作品

ロベルト・ロッセリーニ監督作品

『ローマで夜だった』

Era notte a Roma

現在は正当な評価をされているが、R・ロッセリーニ監督がイングリット・バーグマンと一緒に
なってから作りあげた映画は、今まで作っていた「無防備都市」「戦火のかなた」「ドイツ零年」な
どのネオリアリズモ作品のように世界に受け入れられませんでした。(唯一、支持したのはフラン
ス・ヌーヴェル・ヴァーグの監督になる若き評論家たちでした)

1954年、バーグマンとの最後の作品「不安」の後、4年間の沈黙を余儀なくされ、58年「イ
ンディア」を撮った後、ヴィットリオ・デ・シーカ監督を主役にして「ロベレ將軍」で、第二次大戦の
レジスタンスを題材にした作品により見事に振り返ります。

高い評価を得たロッセリーニは、ソ連から監督で俳優のボンダルチュクを招いた国際キャストの
レジスタンス映画で実話の作品を創ります。

第二次世界大戦末期、ドイツ軍の捕虜収容所を脱走した英・米・ソの連合軍の軍人がローマに潜入
し、ローマ解放を迎えるまでの9か月間、ローマの娘やその仲間たちに助けられながら活動する姿を
描いています。反ファシスト＝反ナチスの抵抗運動を続ける人々、ドイツ軍のスパイになって生き延
びようとする者、表向きはドイツ側にコネをつくって抵抗運動をする者等々、ロッセリーニらしい?
作品です。お楽しみください。(解説：湯越勘一氏)

※ 20時以降 美術館は閉館につき入館できませんのでご注意ください。

※ 館内での飲食は厳禁ですのでご注意ください。

データ

監 督	／ ロベルト・ロッセリーニ	出 演	／ レオ・ゲン
脚 本	／ セルジョ・アミティ		ジョヴァンナ・ラッリ
	ディエゴ・ファブリー		セルゲイ・ボンダルチュク
	ブルネッロ・ロンディ		ピーター・ボールドウィン
	R・ロッセリーニ		レナート・サルヴァトーレ
撮 影	／ カルロ・カルリーニ	音 楽	／ レンツォ・ロッセリーニ
編 集	／ ロベルト・チンクイーニ	美 術	／ フラヴィオ・モグリーニ
製 作	／ G・B・ロマネンゴ		

1960年 120分

記

日 時：2015年11月26日(木) 19:00～21:00

会 場：あじびホール(福岡アジア美術館8F) TEL092-263-1100

(福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル)

入場料：無 料 先着120名(直接会場へお越しください)

問合せ：福岡日伊協会 担当 井口

TEL 092-476-2153 (西日本シティ銀行内)

★ 今後の上映予定 ★

2016年1月25日(月) 19:00 あじびホール

ヴィットリオ・デ・シーカ監督作品「ウンベルトD」